

屋外設置形(BL 認定品)

# ガス給湯器 取扱説明書

保証書付

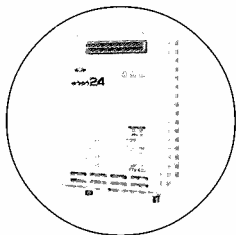
型番

133-T010 型

型式名

GS-S2400W

ECOジョーズ



このたびはガス給湯器をお買い上げいただきましてありがとうございます。

ご使用になる前に必ずこの取扱説明書をよくお読みいただき、十分に理解したうえで正しくご使用ください。この取扱説明書の裏表紙が保証書になっています。保証書の内容をよくお読みいただき、保証期間・保証内容などを確認ください。この取扱説明書は、いつでもご覧になれる身近なところへ大切に保管してください。

取扱説明書を紛失された場合は、お買い上げの販売店または、最寄りの大阪ガスへご連絡ください。その際、機器本体の銘板をご覧のうえ、型番・製造年月をお知らせください。

## もくじ

ページ

☆安全に正しくお使いいただくために	1
☆必ずお守りください	1
☆各部の名称とはたらき	5
☆ご利用前の準備	8
☆お湯を使うには(リモコンなしで使う)	8
☆お湯を使うには(別売品のリモコンを使う)	8
— 台所リモコン(138-0055型)・増設リモコン(138-0057型)をご使用の場合 —	
☆浴槽にお湯張りをするには	10
湯量おしらせ機能を使ってお湯張りする	10
湯量(お湯張り量)の設定	11
☆浴室から人を呼ぶ(呼び出しスイッチ)	12
☆チャイムや音声ガイドの音量を調節する	12
— 台所リモコン(138-0001型)・浴室リモコン(138-0002型)をご使用の場合 —	
☆浴槽にお湯張りをするには	13
お湯張り機能について	13
お湯張り機能を使ってお湯張りする	13
お湯張り温度・お湯張り量の設定	14
☆冬期の凍結予防をするには	15
☆点検ポイント・お手入れのしかた	17
☆故障かな?と思ったら	18
お湯の出かた	18
機器本体	19
リモコン	19
機器本体・リモコン	19
リモコンにアラーム番号が出たとき	20
☆アフターサービスについて	21
☆仕様一覧	22
☆保証書	裏表紙

お使いいただくまえに

使いかた

長くお使いいただくために

# 安全に正しくお使いいただくために

## ■この取扱説明書の表示について■

この取扱説明書では、機器を正しくお使いいただき万一の事故を未然に防ぐため、以下のような表示で注意を呼びかけています。

### ⚠️ 危険

### ⚠️ 警告

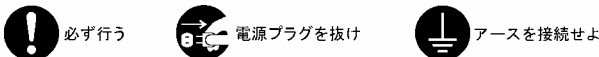
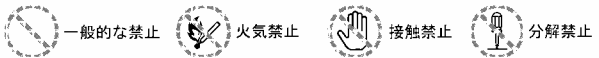
### ⚠️ 注意

■絵表示については次のような意味があります。

この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者等が死亡または重傷を負う危険、または火災の危険性が切迫して生じることが想定される内容を示しています。

この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者等が死亡または重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。

この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者等が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。



### お願い

ご使用になるときに、よく理解していただきたい内容を示しています。

(→P. XX)

参照ページを示しています。

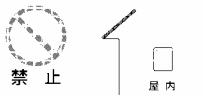
# 必ずお守りください

安全に正しくお使いいただくために、この内容は必ずお読みください。

### ⚠️ 危険

#### 屋内に設置しない

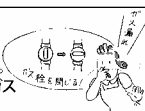
● 燃焼ガスが室内に充満したり、正常な給排気ができないため異常燃焼し、酸欠や一酸化炭素中毒の原因になります。



禁止

#### ガス漏れに気づいたときは

- ① すぐに使用をやめて、給湯栓を全て閉じる。
- ② ガス栓を閉じる。また、メーターのガス栓も閉じる。
- ③ お買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスに連絡する。



#### 全ての処置が終わるまでの間、絶対に

- ・ 火をつけない
- ・ 電気器具のスイッチの入・切をしない
- ・ 電源プラグの抜き差しをしない
- ・ 周辺の電話を使用しない



火気禁止

### ⚠️ 警告

#### 機器設置および付帯工事

- 機器の設置・移動および付帯工事は、お買い上げの販売店または、最寄りの大阪ガスへ依頼し、安全な位置に正しく設置する。設置工事に不備があると事故の原因になります。
- 屋外設置形の機器は、増改築などによって屋内状態にない、不完全燃焼による一酸化炭素中毒や火災のおそれがあります。



禁止

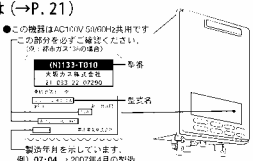


#### 機器の銘板を確認

- 機器の銘板に表示してあるガス種（ガスグループ）および電源（電圧・周波数）で機器を使用してください。ガス種および電源が一致しないと不完全燃焼による一酸化炭素中毒になったり、爆発着火火でやけどをしたり、機器が故障する場合があります。
- 転居時の注意は（→P. 21）



ガス種・電源を確認



# 必ずお守りください

### ⚠️ 警告

#### ガス接続について

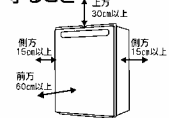
● この機器のガス管の接続はねじ接続です。ガス配管接続工事には専門の資格・技術が必要です。機器の設置・移動・取外しの際には、必ずお買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへご相談ください。

#### 機器本体やガスの接続部などに乗らない

● けがや機器の変形によるガス漏れ、不完全燃焼のおそれがあります。

#### 火災予防のために必ず守ること

● 機器周辺のものとは常に図の隔離距離を確保する。



- 機器および排気口の周囲には紙や木材・洗濯物など燃えやすいものを置かない。火災の原因となります。
- 機器の周囲では灯油・ガソリン・ベンジンなど引火性危険物を使用しない。火災の原因となります。
- 機器の周辺や上にスプレー缶・カセットコンロ用ボンベを置いたり、使用したりしない。熱で缶・ボンベの圧力が上がり爆発のおそれがあります。



禁止

#### 分解禁止

● お客様ご自身では絶対に分解したり修理・改造は行わない。事故や故障の原因となります。



分解禁止

#### お子様には十分な注意を

● 浴槽にお湯張りしているときに、お子様を浴室で遊ばせない。思わぬ事故につながる可能性があります。



#### 給排気口の前方に物を置いたり洗濯物でおおわない

● 不完全燃焼や火災のおそれがあります。

#### 給湯・シャワー使用時の注意

- シャワーなどお湯を使う場合は、リモコンの表示温度をよく確かめ、手のひらで温度を確認して湯温が安定してから使用する。次のようなときは注意してください。
  - ・ お湯を再使用するとき ・ 給水圧が下がったとき
  - ・ お湯の量を急に少くしたとき ・ 機器が故障したとき
- 給湯使用時は出湯管（蛇口）に触らない。
- シャワー・給湯使用中に、使用者以外がお湯の温度を変更したり、運転スイッチを「切」にしない。思わぬ事故や、やけどのおそれがあります。



手で温度を確かめる



#### 異常時の処置について

- 地震・火災などの緊急時の場合は、速やかに使用を中止し、ガス栓を閉じる。
- 給湯栓を閉ずっても点火しない場合や使用中で火が消える場合、または使用中に異常な燃焼や臭気・異常音・異常な温度を感じた場合
  - ① ただちに使用を中止してガス栓を閉じる。
  - ② 「故障かな?と思ったら」(→P. 18~20)に従って処置をする。

上記の処置をしても直らない場合は、使用を中止してお買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへ連絡する。



給湯栓・ガス栓を閉じる



#### 機器本体でのやけどに注意

● 使用中または使用後は必ず、排気口付近に手を触れない。やけどのおそれがあります。



接触禁止



### ⚠️ 注意

#### ソーラーシステムと接続する場合

● ソーラーシステムと接続する場合は、出湯温度が設定温度より高くならないことがありますが、必ずサーモスタット付混合水栓を使用し、手で温度を確認してからご使用ください。

#### ドレン排水口から排出される水について

● ドレン排出配管から排出される水を飲料用・飼育用などに使用しない。

#### 配管カバー（または据置台）についての注意

● 配管カバー（または据置台）のフロントカバーを外した場合は、作業終了後は必ず、外したカバーをしっかりと閉める。(→P. 17)

#### 長期間使用しない場合

● 長期間使用しないときは、ガスの元栓を閉じてください。

# 必ずお守りください

## 注意

### 電気事故防止

- 電源コードを切断して延長はしない。電源コードがコンセントに届く範囲としてください。感電や発火の原因になります。
- 電源プラグは根元まで完全に差し込む。差し込みが不完全な場合、感電・発火の原因になります。傷んだプラグ、緩んだコンセントは使わないでください。
- 電源プラグのほこりなどは、定期的に取り。電源プラグにほこりがたまるとう、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因となります。電源プラグを抜き、乾いた布で拭いてください。
- 濡れた手で電源プラグをさわらない。感電のおそれがあります。



禁止

## お願い

### ガス事故防止のために

- 使用時の点火、使用後の消火のほか、使用中も正常に燃焼していることをリモコンの燃焼表示で確認してください。

### 雷が発生しているときの注意

- 雷が鳴り始めたら速やかに運転を停止し、感電に注意して電源プラグをコンセントから抜いてください。雷による一時的な過電流で電子部品を損傷することがあります。



電源プラグを抜く

### 雷が鳴ったあと機器が作動しないとき

- 落雷の際に、機器内の通電スイッチが作動したことが考えられます。この場合は電源プラグを一度コンセントから抜き、再度差し込んでください。それでも使用できないときはお買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへご連絡ください。

### リモコンの扱いについて

- 浴室リモコンは防水タイプですが故意に水をかけないでください。台所リモコンや増設リモコンには水をかけたり、炊飯器・電気ポットなどの蒸気を当てないでください。故障の原因になります。
- リモコンはお子様がいすらないよう注意してください。



### 乾電池に関する注意

- 機器を取り替えた場合、旧機器は専門の業者に処理を依頼してください。もし、お客様で旧機器の処理をされる場合、乾電池を使用した機器は乾電池を取り外してから正規の処理をしてください。

### 電気事故防止

- コンセントや配線器具の定格を超える使い方、たこ足配線などで定格を超えると発熱による火災の原因となります。
- コンセントから電源プラグを抜くときは、プラグを持って抜く。コードを引っ張ると破損して感電や火災の原因になります。
- この機器は接地工事（アース）が必要なので、アースがされているか確認する。



アースを接続する

### 用途についての注意

- 一般家庭での台所・シャワー・洗面・浴槽へのお湯張りなどの給湯以外の用途には使用しない。思わぬ事故につながる可能性があります。
- 車庫・船への搭載はしない。振動により機器が転倒し、火災や機器故障の原因になります。

### 電源プラグを抜かない

- お手入れや長期間使用しない場合、および水抜きを行うときは、電源プラグを抜かないでください。

### 停電時または電源プラグを抜いたとき

- この機器は、停電時や電源プラグを抜いたときは使用できません。
- 停電時は給湯栓を閉じ、給湯栓を閉じたとき、リモコンの設定（給湯温度・湯量など）を行い、表示を確認したあとご使用ください。



給湯栓を閉じる

### 断水のとぎ

- 断水のとぎは、給湯栓を閉じ、リモコンの運転スイッチを「切」にしてください。
- 断水が復した後は、使い始めのお湯は飲用や調理用などには使用しないでください。飲用や調理用には適さない水が給水管内にとどまる場合があります。

### 飲用にお使いのときは

- 機器内に長時間まった水（例えば朝一番の使い始めのぬるい湯が出るまで）は、飲まないで雑用水としてお使いください。

### 長期間使用しないときは

- 「機器の水を抜く方法」(→P. 15)に従って、水抜きを行ってください。水が長いあいだ流れないと、一瞬濁ったお湯が出たり、冬期に凍結する場合があります。

### この機器は一般家庭用です

- 業務用のような使いかたをされると、機器の寿命を著しく縮めます。この場合の修理は保証期間内でも有料となります。

# 必ずお守りください

## お願い

### 凍結についての注意

- 凍結のおそれがあるときは、「冬期の凍結予防をするには」(→P. 15)に従って処置してください。おこたると機器内の水が凍って機器が破損することがあります。機器や配管が損傷した場合、高額な修理費がかかります。(有料)
- 凍結したままでは絶対に使用しないでください。
- 凍結したときは「凍結してしまつたときは」(→P. 16)に従って処置をしてください。

### 市販の補助用具について

- 事故防止のため、この機器の純正部品以外は使用しないでください。
- 水圧の低い地域では泡沫水栓を使用しないでください。
- やけど対策上、サーモスタット付混合水栓の使用をおすすめします。
- 混合水栓にはさまざまな種類があります。使用方法は、混合水栓の取扱説明書をご覧ください。

## 設置する場所や状況について

### 設置場所について

- 設置場所をお決めになるときは近隣の家が運転音（燃焼音・燃焼ファン）で迷惑にならない場所に設置してください。（工事担当者にご相談ください）
- 足場などを組んだり、ハシコ・脚立を使わずにメンテナンスができない高所などに設置しないでください。メンテナンスをお断りすることがあります。
- 扇などを増設する場合は、機器の点検・修理のためと、燃焼不良の発生を防止するために空間を確保し、空気の流れが滞留しないようにしてください。

### 給排気について

- 機器は給気・排気が十分できる場所に設置してください。給排気が不十分な場所に設置すると不完全燃焼の原因となります。

### 塩ビ管の使用について

- 給水・給湯配管に塩ビ管を使わないでください。機器の使用直後に熱交換器の後沸きにより塩ビ管が破裂し、熱湯がふき出したり、多量の水漏れの原因になります。（ただし、ドレン排出配管は除きます）

### 地下水や温泉水、井戸水を使用しない

- この機器は水道用です。水質によっては、機器内の配管内部に異物が付着したり、配管に穴があくなど耐久性を損う場合や、機器が正しく作動しないことがあります。この場合、保証期間内でも有料修理となります。

### 通水使用の禁止

- 運転スイッチを「切」にした状態で給湯栓を開けて水を出したり、シャワーを浴びないでください。機器内通水部分の結露により機器の寿命を短くします。（冬期の凍結予防を除く）

### 日常の点検・お手入れ

- 安全にお使いいただくために、点検・お手入れは月1回程度必ず行ってください。（→P. 17）
- 故障または破損したと思われるときは使用しないでください。このときお客様ご自身で修理せず、お買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへご連絡ください。
- 浴槽や洗面台が、水中の微量の銅イオンと脂肪分（湯アカ）により青く着色することがあります。日々、浴槽や洗面台のお手入れをするるとともに、万一着色した場合はクレンザーやアンモニア水（10%程度）等で拭き取ってください。
- ドレン排出配管の先からスムーズに排出されるか点検してください。ゴミ等によって閉鎖されている場合は掃除を行ってください。（高効率のため、排水量が多くなっています）

### 排気ガス

- 増改築時には、排気ガスが直接建物の外壁や窓・ガラス・網戸・アルミサッシなどに当たらないようにしてください。変色・破損・腐食の原因になります。
- 排気口の周囲には、排気口からの排気ガスによって加熱されて困るもの（危険物・植物・ペットなど）を置かないでください。
- この機器は熱効率が高いため、排気口から白い湯気が出やすくなっています。これは水蒸気であり、故障ではありません。



禁止



### ほこり

- 砂や油煙、ペットの毛など、ほこりのたやすい場所には設置しないでください。ほこりが給気口を塞いだり、燃焼ファンの性能を低下させ、不完全燃焼の原因となります。



禁止



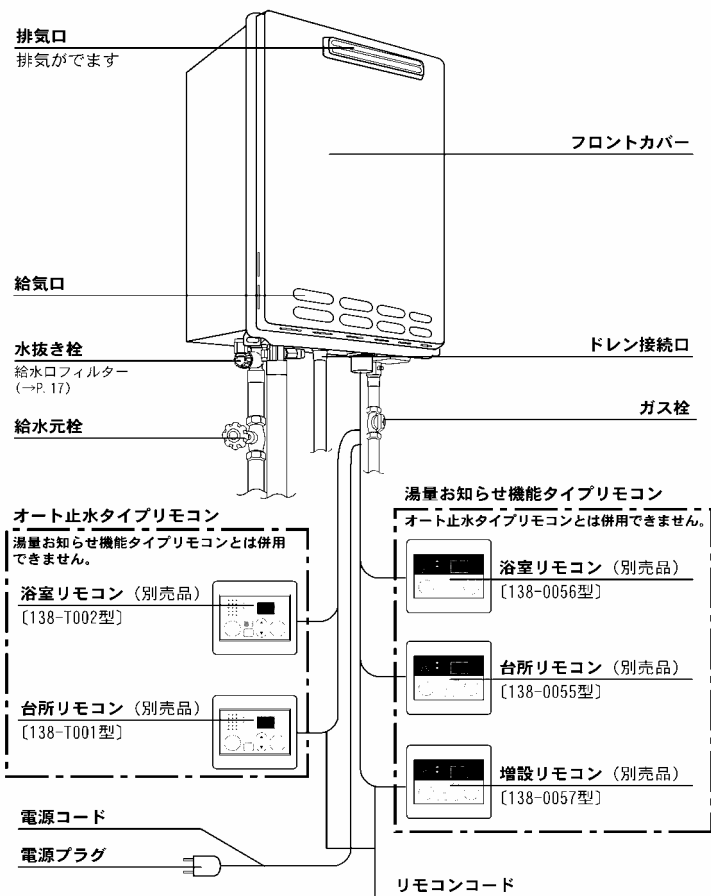
### 塩害

- 海岸近くに設置するときは、潮風にさらされる場所を避けてください。機器が腐食し、故障の原因になります。

お使いいただくまえに

# 各部の名称とはたらき

## ■機器本体

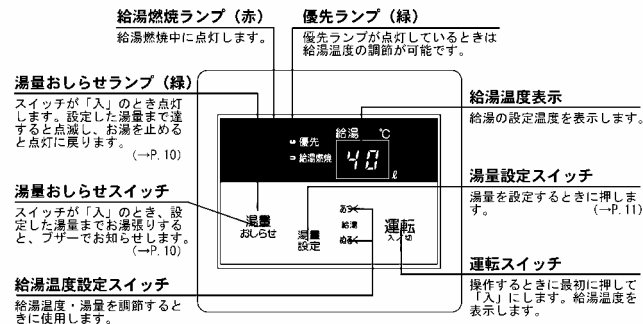


# 各部の名称とはたらき

台所リモコン [138-0055型]・浴室リモコン [138-0056型] を取り付けている場合は、湯量お知らせ機能が使用できます。

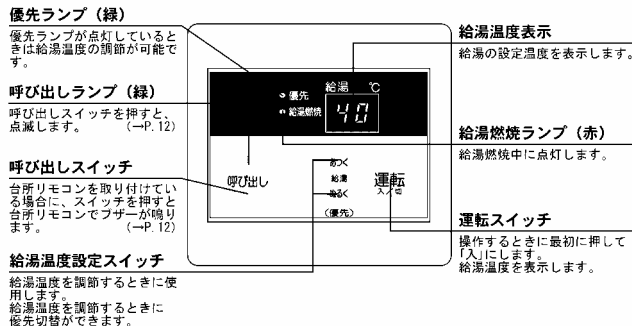
## ■台所リモコン [138-0055型] (別売品)

●台所リモコン [138-T001型]・浴室リモコン [138-T002型] とは併用できません。  
※防水タイプではありません。



## ■浴室リモコン [138-0056型] (別売品)

●台所リモコン [138-T001型]・浴室リモコン [138-T002型] とは併用できません。



## ■増設リモコン [138-0057型] (別売品)

●台所リモコン [138-T001型]・浴室リモコン [138-T002型] 型とは併用できません。  
●台所・浴室以外の部屋から運転スイッチの「入」/「切」や、給湯温度・湯量の設定が調節できます。  
●各部の名称とはたらき、使用方法は台所リモコン [138-0055型] と同じです。  
※防水タイプではありません。



お使いいただくまえに

## 各部の名称とはたらき

台所リモコン [138-T001型]・浴室リモコン [138-T002型] を取り付けている場合は、オート止水（自動止水）が使用できます。

### ■台所リモコン [138-T001型]（別売品）

●台所リモコン [138-0055型]・浴室リモコン [138-0056型]・増設リモコン [138-0057型] とは併用できません。  
※防水タイプではありません。

#### 優先ランプ（緑）

優先ランプが点灯しているときは給湯温度の調節が可能です。

#### 燃焼ランプ（赤）

給湯燃焼中に点灯します。

#### お湯張りランプ（緑）

お湯張りスイッチが「入」のとき点灯します。設定した湯量まで達すると点滅し、お湯張りスイッチを「切」にすると消灯します。（→P.13）

#### お湯張りスイッチ

スイッチが「入」のとき、設定した湯量までお湯はりすると、出湯が停止して音声でお知らせします。その後給湯栓を閉じてください。（→P.13）

#### 設定スイッチ

お湯張りの温度、お湯張り量、音量を設定するときには押します。（→P.12~14）

#### 給湯温度設定スイッチ

給湯温度・お湯張り温度・お湯張り量・音量を調節するときには使用します。

#### 給湯温度表示

通常は給湯温度を表示しています。また設定変更時には、お湯張り温度・お湯張り量・音量を表示します。

#### お湯張り温度変更モード表示

お湯張り温度変更モードのときに表示します。

#### お湯張り量変更モード表示

お湯張り量変更モードのときに表示します。

#### 音量変更モード表示

音量変更モードのときに表示します。

#### 運転スイッチ

操作するとき最初に押して「入」にします。給湯温度を表示します。（→P.8）

### ■浴室リモコン [138-T002型]（別売品）

●台所リモコン [138-0055型]・浴室リモコン [138-0056型]・増設リモコン [138-0057型] とは併用できません。  
※説明は台所リモコン [138-T001型] との違いのみ説明します。それ以外は138-T001型の説明をご覧ください。

#### 呼び出しスイッチ

台所リモコンを取り付けている場合は、スイッチを押すと台所リモコンでサインと音声が流れてお知らせします。（→P.12）

#### 給湯温度設定スイッチ

給湯温度、お湯張り温度、お湯張り量、音量を調節するときには使用します。給湯温度を調節するときに優先ランプが点滅します。（→P.9）

## ご利用前の準備

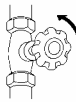
はじめてお使いになるときは、まず屋外にある機器の準備をします。

### 1 点検・確認を行います

機器や機器周辺の点検・確認を行います。（→P.17）

### 2 給水元栓を全開にします

機器の下にあります。



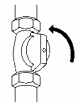
### 3 給湯栓を開けます

水が出ることを確認して、給湯栓を閉じます。



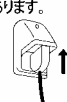
### 4 ガス栓を全開にします

機器の下にあります。



### 5 電源プラグを差し込みます

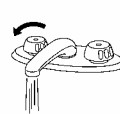
コンセントは機器周辺部にあります。



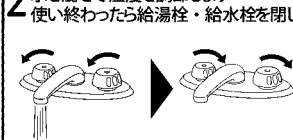
## お湯を使うには（リモコンなしで使う）

給湯栓を開ければ、お湯が出ます。お湯の温度は約60℃の高温（一定）になります。必ず混合水栓をお使いください。

### 1 給湯栓を開けてお湯を出します



### 2 水を混ぜて温度を調節します



#### 警告

●給湯、シャワー等を使うときは、給湯温度を確認し、手で温度を確かめてから使う。おこたるとやけどのおそれがあります。



●混合水栓にはサーモスタット付き、シングルレバータイプ、止水機能付きなどさまざまな種類があります。  
●やけどを防ぐため、サーモスタット付混合水栓の使用をおすすめします。

## お湯を使うには（別売品のリモコンを使う）

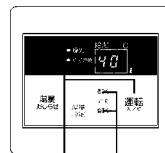
おふろのシャワーや上がり湯のほか、台所や洗面所などで使う給湯の操作について説明します。給湯は別売品の台所リモコン、浴室リモコンからも操作できます。

台所リモコン  
[138-0055型]

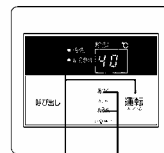
浴室リモコン  
[138-0056型]

台所リモコン  
[138-T001型]

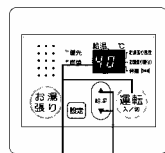
浴室リモコン  
[138-T002型]



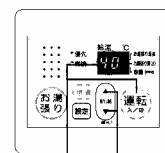
1 2



1 2



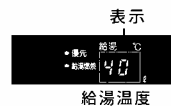
1 2



1 2

### 1 運転スイッチを「入」にします

運転スイッチを押します。



給湯温度

運転「入」になると給湯温度を表示します。

※図は、[138-0055型] を示しますが、各リモコンとも操作方法は同じです。

次ページへ

# お湯を使うには (別売品のリモコンを使う)

## 2 給湯度を調節します



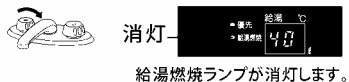
給湯度は以下の14段階から選べます。

ご使用の目安 (単位: °C)

37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	50	55	60
銭湯など	シャワー・給湯など											高温	

40: 工場出荷時

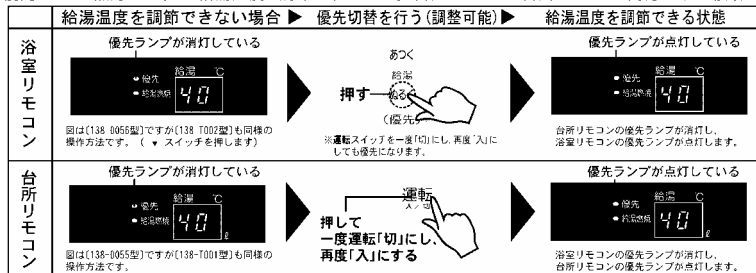
## 3 給湯栓を開けてお湯を出し、使い終わったら閉じます



※他の給湯栓でお湯が使われているときは消灯しません。

### ■優先切替について (給湯度を調節できるリモコンの切替を「優先切替」といいます)

優先ランプが点灯しているリモコンで給湯度が調節できます。優先ランプが消灯している場合は、下記の手順で優先ランプを点灯させてから給湯度を調節してください。(浴室リモコン・台所リモコンの両方がある場合)



### お湯を使うときの注意

- ⚠警告** ●給湯・シャワー等を使うときは、給湯温度を確認し、手で温度を確かめてから使う。確認をおこたるとやけどのおそれがあります。
- シャワー使用中は使用者以外温度の変更や優先の切替・運転スイッチを「切」にしない。行くとシャワーの温度が急変し、危険です。シャワーを使用するときは、必ず浴室リモコンを優先にして、給湯温度を確認してから使用してください。

### ⚠ご注意ください

- 給湯栓を閉しても再使用時の点火をより早くするため、機器の燃焼ファンがしばらく回転しますが、故障ではありません。
- お湯を1時間以上連続使用すると、給湯栓忘れ確認のためアラーム番号「011」を表示し、燃焼が止まり水になります。その場合は一度給湯栓を閉じてから再度ご使用ください。
- 表示している温度と給湯栓から出る湯温は、配管の長さや外気温等により必ずしも一致しません。表示温度は目安としてお考えください。
- 使いはじめは給湯配管の水が流れ出るまでしばらくお湯が出ません。(配管の長さによりお湯が出るまでの時間が異なります)
- 給湯栓をしほり過ぎると、熱いお湯が出たり、燃焼が停止して水になることがあります。
- 水温が30°C近くなる夏期では、低温にセットしても給湯栓の湯量が少ないと給湯温度が高くなります。この場合は給湯栓をさらに開けて湯量を多くするが、水と混合してお使いください。

# お湯を使うには (別売品のリモコンを使う)

### 給湯度を調節するときの注意

### ⚠ご注意ください

- 台所リモコン [138-T001型]、浴室リモコン [138-T002型] をお使いの場合、50°C以上に給湯温度を設定するとチャイムが鳴り、音声ガイドが「熱い温度にセットされました 注意してください」と2回お知らせします。

### 🙏お願い

- 55°C以下の温度で給湯・シャワーを使用しているときは、やけど防止のため60°C以上には設定変更ができません。60°C以上に設定しようすると「ヒヒヒビビ」と警告音が鳴って受け付けません。変更したいときは、一旦給湯を止めてから設定してください。また、設定するときは他の場所で給湯が使われていないか、よくご確認ください。
- 通常、給湯温度は運転スイッチを「切」にしても記憶されていますが、給湯温度を60°Cに設定したときはやけど等の危険防止のため、再度運転スイッチを「入」にしたとき自動的に55°Cにセットされます。
- はじめてお使いのときや停電時、電源プラグを抜いた場合など、一度通電が止まって再通電したときは、給湯温度表示が40°Cになります。再度セット直してください。

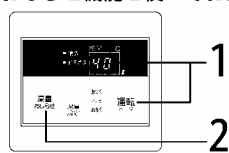
### 🔧X-ME

- 優先を切替えたとき、切替え前の給湯温度が60°C以上だった場合、自動的に55°Cにセットし直されます。
- 別売の増設リモコン (138-0057型) を設置している場合
  - ・台所リモコンが優先のときは、増設リモコンも優先になります。
  - ・増設リモコンと台所リモコンは連動しています。増設リモコンの運転スイッチを「入」にすると、増設リモコンと台所リモコンに優先ランプが点灯し、台所リモコンでも給湯温度を設定できます。給湯温度は設定したリモコン側の温度になります。

## 浴槽にお湯張りをするには

台所リモコン [138-0055型]・増設リモコン [138-0057型] をご使用の場合

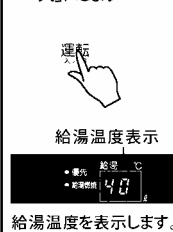
### ■湯量おしらせ機能を使ってお湯張りする



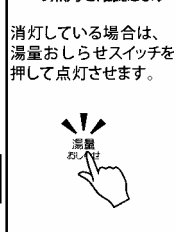
### ■湯量おしらせ機能について [138-0055型・138-0057型]

設定した湯量になると、台所リモコンのブザーが約10秒間鳴ってお湯が張られたことをお知らせします。お湯は自動的に止まりませんので給湯栓を閉じてください。

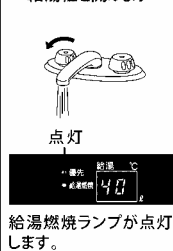
### 1 運転スイッチを「入」にします



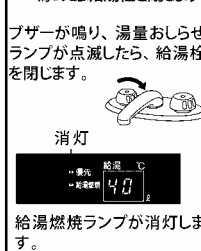
### 2 湯量おしらせランプの点灯を確認します



### 3 おふろの栓をして、給湯栓を開けます



### 4 台所リモコンのブザーが鳴った給湯栓を閉じます



### 湯量おしらせ機能を解除するには

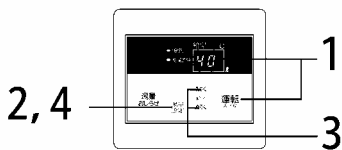
この機能を使用しない場合は、湯量おしらせスイッチを押して、湯量おしらせランプを消灯させてください。

# 浴槽にお湯張りをするには

台所リモコン [138-0055型]・増設リモコン [138-0057型] をご使用の場合

## ■湯量（お湯張り量）の設定

湯量（お湯張り量）は工場出荷時、180ℓに設定されていますが、お好みで設定することができます。



### 1 運転スイッチを「入」にします



給湯温度表示



給湯温度を表示します。

### 2 湯量設定スイッチを押します



湯量点減



湯量が点滅します。

### 3 湯量を調節します

湯量が増えます ← あつく  
湯量が減ります ← ちひく

リモコンには下1桁の“0”が表示されません。

例) 200ℓ → 20

湯量は以下の16段階から選べます。

表示 5 12 14 16 18 20 22 24  
設定 50ℓ 120ℓ 140ℓ 160ℓ 180ℓ 200ℓ 220ℓ 240ℓ  
表示 26 28 30 32 34 36 40 50  
設定 260ℓ 280ℓ 300ℓ 320ℓ 340ℓ 350ℓ 400ℓ 500ℓ

※工場出荷時には180ℓに設定されています。

### 4 湯量設定スイッチを押します



給湯温度表示



設定が終了して、給湯温度が表示します。

※湯量設定スイッチを押さなくても、約5秒たつと設定が終了して、給湯温度を表示します。

- お願い**
- 浴槽の種類によっては、あまり多めに設定するとあふれることがあります。初めは工場出荷時の180ℓでお湯張りし、実際の湯量を確認してから増減することをおすすめします。
  - 湯量（お湯張り量）は、運転スイッチを「切」にしても記憶されていますが、停電や電源プラグを抜いた後、再通電したときは180ℓになりますので、再設定してお使いください。

**注意** ● 入浴の際には念のためよくかきませ、湯がけんを手で確かめる。確認をおこたるとやけどのおそれがあります。

- お願い**
- 湯量おしらせ機能を使うときは、給湯栓のみ開け、水と混ぜないでお湯張りしてください。
  - 湯量おしらせ機能を使ってお湯張り中に台所などの場所でお湯を使うと、他で使った量が浴槽へのお湯張り量が減りますので気をつけてください。（例えば、設定湯量が180ℓのとき、台所で30ℓ使ったと、浴槽に150ℓ入れたところでブザーが鳴ります）
  - お湯張り完了のブザーが鳴る前に次のことを行った場合、湯量カウントが初めから行われ浴槽からあふれることがありますのでご注意ください。
    - ① 湯量おしらせ機能を使ってお湯張り中に一度すべての給湯栓を閉じたあと、再度給湯栓を開けて続けてお湯張りしたとき。
    - ② 運転スイッチを一度「切」にして、再度「入」にしたとき。
  - お湯張り中に優先を切替えるとお湯の温度が変わります。お湯張り中には優先を切替えないでください。
  - サーモスタット付き混合水栓をお使いの場合、必ず水栓側の温度設定を「H」または「高」の位置まで回して使用してください。中間の位置で使用すると設定湯量より多くお湯はりし、浴槽からあふれることがあります。お湯張り終了後は、サーモスタット付混合水栓の設定温度を通常使用している温度に下げてください。

# 浴室から人を呼ぶ（呼び出しスイッチ）

浴室リモコンの呼び出しスイッチを押すと、台所リモコンでチャイムを鳴らして知らせます。

## 浴室リモコン [138-0056型] の場合

呼び出しスイッチを押します



呼び出しスイッチを押している間呼び出しランプが点滅します。

台所リモコンでは、呼び出し音が鳴ってお知らせします。

## 浴室リモコン [138-T002型] の場合

呼び出しスイッチを押します



呼び出しスイッチを押している間チャイムが鳴ります。

台所リモコンでは、チャイムが鳴り“おふろで呼んでいます”とお知らせします。

- 注意**
- 運転スイッチの「入」/「切」に関係なく操作できます。
  - インターホン機能は付いていません。
  - 浴室リモコンと台所リモコンを両方取り付けていない場合、浴室からの呼び出しは使えません。

# チャイムや音声ガイドの音量を調節する

音声ガイドの機能が付いているリモコン（138-T001型、138-T002型）をお使いの場合は、チャイムや音声ガイドの音量を大きくしたり、小さくしたり、無音にしたりすることができます。それぞれのリモコンで、別々に設定できますので、お好みに合わせて調節してください。

## 1 運転スイッチを「入」にします



給湯温度表示



給湯温度を表示します。

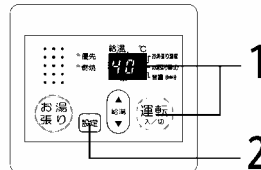
## 2 設定スイッチを数回押し、音量変更モード表示にします



音量点滅 点灯

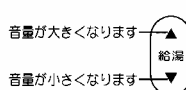


音量変更モード表示が点灯し、音量の数字が点滅します。



※図は、138-T001型を示しますが、138-T002型も操作方法は同じです。

## 3 音量を調節します



音量は以下の4段階から選べます。

0 (無音) 1 (小) 2 (中) 3 (大)

※設定: 工場出荷時

- ▲ ● ▼ スイッチは、音量の数字が点滅している間に押します。
- ▲ ● ▼ スイッチで入力後、しばらくたつと確定となります。



- 設定した音量は、運転スイッチを「切」にしても記憶されています。
- 音量を「無音」にすると、音声ガイドは流れませんが、浴室リモコンで呼び出しスイッチが押されたときには、台所リモコンの呼び出し音声が「大」で流れます。
- 台所リモコンの呼び出し音声の音量、およびスイッチ操作時の「ピッ」という音の音量は調節できません。

# 浴槽にお湯張りをするには

台所リモコン (138-T001型)、浴室リモコン (138-T002型) をご使用の場合

## ■お湯張り機能について

浴槽にお湯張りをするとき、お湯張り機能を使うとお湯の入れすぎがなく便利です。

設定した湯量になると自動的に出湯を停止し、台所リモコン、浴室リモコンの両方でチャイムと音声ガイドがお知らせします。

### お湯張りを途中で止めたいときは

給湯栓を閉じてから、お湯張りスイッチを押してお湯張りランプを消灯させます。

### お湯張り中に停電があったときは

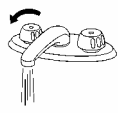
水が流れたままになります。  
給湯栓を閉じて、浴槽を空の状態にしてから、お湯張りをやり直してください。

## 2 お湯張りスイッチを押します



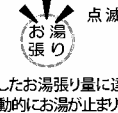
お湯張りランプが点灯します。  
チャイムが鳴り、音声ガイドが2回鳴ります。  
“お湯張りを始めます  
おふろの栓をしてから、  
蛇口を開けてください”

## 3 おふろの栓をして、給湯栓を開けます



“お湯張りを始めます  
おふろの栓をしてから、  
蛇口を開けてください”  
燃焼ランプが点灯します。

## 4 音声ガイドが鳴ったら給湯栓を閉じます



設定したお湯張り量に達すると、自動的にお湯が止まります。  
お湯張りランプが点滅して、チャイムが鳴り、音声ガイドが2回流れます。  
“おふろに入れます  
蛇口を閉めてから、お湯張り  
スイッチを押してください”

## 5 お湯張りスイッチを押します



お湯張りランプと燃焼ランプが消灯します。

※音声ガイドでお知らせします“蛇口”は、給湯栓のことをいいます。

**注意** ●入浴の際には念のためよくかきまぜ、湯かげんを手で確かめる。確認をおこたるとやけどのおそれがあります。

- お願い**
- お湯張り機能を使うときは、給湯栓のみを開け、水と混ぜないでお湯張りしてください。
  - お湯張り機能を使ってお湯張り中に台所など他の場所でお湯を使うと、他に使った量分浴槽へのお湯張り量が減りますので気をつけてください。(例えば、設定湯量が180ℓのとき、台所で30ℓ使った、浴槽に150ℓ入れたところでチャイムと音声ガイドがお知らせします)
  - お湯張り中に ▲・▼ スイッチを押すと警告音が鳴り、“お湯張りをしています”と2回お知らせして優先の切替え・温度の変更ができません。
  - お湯張りが終わった後は早めに給湯栓を閉じてから、お湯張りスイッチを押してください。お湯張り動作を終了させるまで他の給湯栓を開けてもお湯はできません。
  - お湯張りが終わった後に給湯栓を閉じないままお湯張りスイッチを押すと、
    - ・給湯栓が閉じられたかどうかを機器が確認するために、1分間隔で給湯栓から水(配管内の湯)が出ます。
    - ・リモコンがチャイムと音声ガイドで“蛇口が開いています 蛇口を開けてから、お湯張りスイッチを押してください”とお知らせします。
    - ・10分以上給湯栓が閉じられないと、リモコンに「CL」が点滅表示され、給湯栓から水が出なくなります。
  - リモコンに「CL」が点滅表示されたら、給湯栓を閉じてからお湯張りスイッチを押して解除してください。(→P. 20)

# 浴槽にお湯張りをするには

## ■お湯張り温度・お湯張り量の設定

工場出荷時は、お湯張り温度40℃、お湯張り量180ℓに設定されていますが、お好みで設定することができます。

### 1 運転スイッチを「入」にします



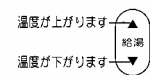
給湯温度表示  
給湯温度を表示します。

### 2 設定スイッチを押します



お湯張り温度点滅 点灯  
お湯張り温度変更モード表示が点灯し、お湯張り温度が点滅します。

### 3 お湯張り温度を調節します



温度が上がります  
温度が下がります  
▲・▼ スイッチは、お湯張り温度が点滅している間に押します。  
お湯張り温度以下の12段階から選べます。  
ご使用の目安 (単位:℃)  
ぬるい 標準 あつい  
37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48  
※工場出荷時

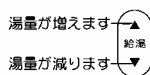
続けてお湯張り量を設定するとき、お湯張り温度が点滅している間に4へ進んでください。

### 4 設定スイッチを押します



お湯張り量点滅 点灯  
お湯張り量変更モード表示が点灯し、お湯張り量が点滅します。

### 5 お湯張り量を調節します



湯量が増えます  
湯量が減ります  
▲・▼ スイッチは、お湯張り量が点滅している間に押します。  
リモコンには下1桁の“0”が表示されません。  
例) 200ℓ → 20  
湯量は以下の16段階から選べます。  
表示 5 12 14 16 18 20 22 24  
設定 50ℓ 120ℓ 140ℓ 160ℓ 180ℓ 200ℓ 220ℓ 240ℓ  
表示 26 28 30 32 34 36 40 50  
設定 260ℓ 280ℓ 300ℓ 320ℓ 340ℓ 360ℓ 400ℓ 500ℓ  
※工場出荷時には180ℓに設定されています。

- お願い**
- 浴槽の種類によっては、お湯張り量を多めに設定するとあふれる場合があります。最初は、工場出荷時でお湯張りし、実際のお湯量を確認してからお好みの湯量に調節することをおすすめします。
  - お湯張り温度・湯量は運転スイッチを「切」にしても記憶されていますが、停電や電源プラグを抜いた後再接通したときは、お湯張り温度40℃・湯量180ℓになりますので再度設定してお使いください。
  - サーモスタット付き混合水栓をお使いの場合、リモコンの設定温度より低い温度に水栓の温度を設定すると、水が混合されて設定湯量より多くお湯張りますので、浴槽からあふれることがあります。サーモスタット付き混合水栓で設定する温度は、リモコンで設定された温度以上でご使用ください。また、お湯張り終了後は、サーモスタット付混合水栓の設定温度を通常使用している温度に下げてください。
  - 設定スイッチを順に押して「お湯張り温度」「お湯張り量」「音量」と続けてセットすることもできます。設定スイッチは以下のように操作します。



使いかた



## 冬期の凍結予防をするには

### ■凍結予防装置について

通常の寒さのとき（外気温-15℃、有風5m/秒程度まで）

機器の電源プラグは、抜かないでください

機器には、気温が下がってくると自動的に機器内を保温する凍結予防ヒータがついています。電源プラグを抜いたリムーバーを「切」にすると凍結予防装置がはたらきません。

- ・凍結予防装置は、運転スイッチの「入」/「切」に関係なく作動します。
- ・給水・給湯配管は凍結することがあります。配管は必ず保温材または電気ヒータを巻くなどの地域に応じた処置をしてください。



### ■給水・給湯配管を凍結させないために

この方法は機器本体だけでなく、給水・給湯配管やバルブ類および給湯栓の凍結予防に有効です。

- 別売のリモコンを取り付けている場合は運転スイッチを押してリモコンを「切」にします。リモコンがない場合は電源プラグを抜きます。
- ガス栓を開きます。
- 浴室の給湯栓を開け、1分間に400cc程度の水を流し続けます。  
流量が不安定なことがありますので、念のため30分ぐらい後にもう一度流量を確認してください。



- ⚠️注意**
- 凍結予防をしているときは、家の人に凍結予防のために水を流していることをお知らせください。水を止めると凍結します。
  - 通水使用の禁止として、運転スイッチを切った状態で、給湯栓を開けて水を出さないようお願いしていますが、凍結予防の場合は問題ありません。（→P. 4）
  - 翌朝お使いになるときは、給湯栓を開けて水が出ることを確認してから、運転スイッチを「入」にしてください。
  - サーモスタット式混合水栓やシングルレバー式混合水栓をご利用の場合は、再使用時の給湯温度設定にご注意ください。

### ■機器の水を抜く方法

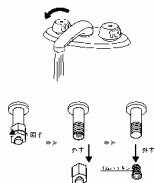
寒波などで特に寒くなりそうとき（外気温-15℃より低い場合やそれ以上の気温でも風のある日）や入居前や長期不在で家のブレーカーを「切」にする場合や、電源プラグを抜く必要がある場合には、この方法で凍結予防をします。水抜き後は、次にお使いになるまでそのままにしておいてください。

- ⚠️注意** ●使用後すぐに水抜きをしない。やけどのおそれがあります。機器やお湯が高温になっていますので冷えてから行ってください。

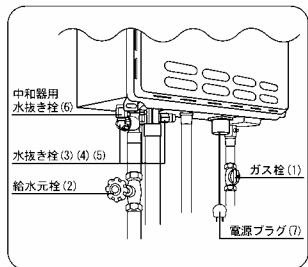
- ガス栓(1)、給水元栓(2)を閉じます。
- すべての給湯栓を全開にします。

- 水抜き栓(3)(4)(5)(6)を外して、水が出ることを確認します。

水抜き栓(6)の外しかた  
水抜き栓(6)は中のゴムパッキンを外して、水抜き栓にはめ込みます。



- 必ず電源プラグ(7)を抜きます。  
電源プラグを抜き忘れずと機器の故障の原因となります。



## 冬期の凍結予防をするには

### ■再使用するときは

機器内の水を排水したあと、しばらくして再度使用するときは次の操作をしてください。

- 水抜き栓(3)(4)(5)(6)およびすべての給湯栓を開きます。



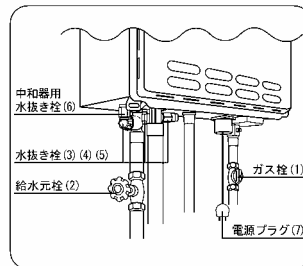
- 給水元栓(2)を開けて、すべての給湯栓から水が出ることを確認します。

機器や配管より水漏れがないか確認してください。

- 電源プラグ(7)をコンセントに差し込みます。



- ガス栓(1)を開けます。



### ■凍結してしまったときは

凍結したときは給湯栓を開けても水は出てきません。解凍するまで待つて、次の操作により水が出ることを確認してから運転してください。

- ガス栓(1)を開きます。

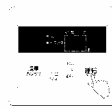


- 給水元栓(2)を閉じます。

配管が破損していると、解凍したときの水漏れの原因になります。



- 別売品のリモコンを取り付けている場合は、運転スイッチを「切」にします。リモコンを取り付けていない場合は、電源プラグを抜きます。



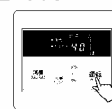
- ときどき給湯元栓を開けて、給湯栓から水が出ることを確認します。

水が出てくれれば使用できます。通水したら、機器および配管から水漏れがないか確認してください。

- ガス栓(1)を開きます。



- 別売品のリモコンを取り付けている場合は、運転スイッチを「入」にします。リモコンを取り付けていない場合は、電源プラグをコンセントに差し込みます。



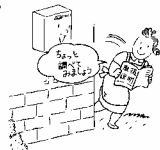
- ⚠️注意** ●配管カバー（または据置台）のフロントカバーを外した場合は、作業終了後は必ず、外したカバーをしっかりと閉める。（→P. 17）

- Ⓞお願い**
- 床などに水が流れては不都合な場所で水抜きをするときは、あらかじめ容器を用意して水を受けてください。
  - 水抜きをした後に再使用するときは、水抜き栓を元通り確実に閉めてください。閉じかたが不十分だったり閉じ忘れたりすると、そこから水漏れします。
  - 取扱説明書に従った凍結予防の処置をせずに機器や配管が破損しますと、高額な修理費用（有料）がかかる場合があります。
  - 給水・給湯配管が凍結すると配管や給湯栓が破損することがあります。解凍後は、水道メーターを見るなど水漏れしていないことを確認してください。

## 点検のポイント・お手入れのしかた

■点検のポイント（月1回程度）次の6つのポイントで点検してください。

- 1 機器および配管から水漏れはありませんか？  
水漏れは、機器の故障だけでなくお湯や落下の方に多大な迷惑を及ぼします。
- 2 機器および配管からガスの臭気はしませんか？
- 3 運転中に機器から異常音がしませんか？
- 4 機器の外観に異常は見られませんか？
- 5 機器のまわり、および排気口のそばに燃えやすいものはありませんか？  
また、整然とされていますか？  
機器のまわりが雑草や木くず・箱などで雑然としていると、機器の内部に害虫（ゴキブリなど）が侵入したり、くもの巣がはたっして、機器の故障などの原因になる場合があります。
- 6 給気口・排気口への積雪や、屋根から落ちた雪により排気口が塞がれていませんか？  
給気口・排気口が塞がれていると、機器が不完全燃焼することがあります。  
積雪時には給気口・排気口の点検、除雪を行ってください。屋根から落ちた雪が給気口・排気口を塞ぐおそれがあるときはお買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへご連絡ください。



■お手入れのしかた（月1回程度）

●機器本体およびリモコンの掃除

- 汚れは、水に濡らしたやわらかい布をかたく絞って、軽く拭き取ってください。
- シンナー・ベンジンなどは使わないでください。変色・変形する場合があります。

●給水口フィルターの掃除

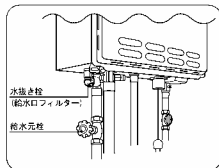
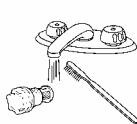
給水口フィルターが詰まるとお湯の出が悪くなったり、お湯にならない場合があります。そのときは、次の要領で給水口フィルターを掃除してください。（特に、新築の場合）

1 給水元栓を閉じます。

2 給水接続口にある水抜き栓（給水口フィルター）を外します。

3 歯ブラシなどで洗います。

4 元のように取り付けます。



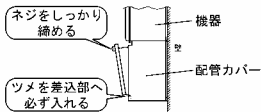
■定期点検のおすすめ（有料）

●ご使用上支障がない場合でも、不慮の事故を防ぎ、安心してより長くご使用いただくために、年一回程度の定期点検をおすすめします。お買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへご相談ください。

●配管カバー（または据置台）のフロントカバーについて

配管カバー（または据置台）のフロントカバーを外した場合、作業終了後は、必ず外したカバーを元の通り取り付けてください。

- ①カバー下部のツメを差込部へしっかりと差し込み、外れないことを確認。
- ②化粧ネジをしっかりと締める。



⚠警告 ●フロントカバーを外したり、リモコンを分解したりしない。



分解禁止

●ご注意ください

- 機器本体のお手入れは、ガス栓を閉じ・電源プラグを抜き、機器が冷えてから行ってください。また、けがなどしないよう、指先には十分注意してください。
- 給湯栓の先端に泡沫器が内蔵されているものについては、ときどき内部のフィルターを掃除してください。
- 台所リモコンには水をはかりけないようにしてください。リモコンの内部には電気部品が入っていますので故障の原因となります。また、浴室リモコンは防水タイプですが、故意に水をはかりないでください。
- 洗剤およびシンナー・ベンジンなどでは拭かないでください。
- 水圧の低い地域では泡沫器は使用しないでください。
- 給水口フィルターを外すと水が出ます。水が流れては不都合な場所では、あらかじめ容器を用意して水を受けてください。

お願い

## 故障かな?と思ったら

■お湯の出かた

こんなとき

故障ではありません

給湯栓を開いてもすぐに  
お湯が出ない

最初に使うときは、機器から給湯栓までの配管内の水が押し出されるまで少し時間がかかります。

夏などぬるいお湯が出ない

給湯栓を十分開いてお湯の量を多くすれば温度は安定します。水温が高いとき、ぬるいお湯を少量出そうとするとお湯の温度が高くなる場合があります。

冬などあついお湯が出ない

お湯の量を少なめにしてお使いください。水温が低いときには、お湯を出しすぎるとあついお湯が出ない場合があります。

給湯栓を絞るすぎて水にな  
った

給湯栓を十分開いてお湯の量を多くすれば温度は安定します。機器から出るお湯の量が、1分間に約3.0ℓ以下になると消火するためです。

お湯が白く濁って見える

水の中の空気が分離して気泡となるためです。ビール・サイダー等の泡と似た現象であり、汚濁とは違って無害なものです。

給湯栓を開けたとき、  
お湯の量が変わる

湯温を安定させるために自動的に湯量調整をしています。すぐに湯量は安定します。

こんなとき

ここを調べてください

あついお湯が出ない

- ◎湯温調節は適切ですか？ (→P. 9)
- ◎ガス栓が全開になっていますか？ (→P. 8)

ぬるいお湯が出ない

- ◎湯温調節は適切ですか？ (→P. 9)
- ◎給水口フィルターが詰まっていますか？ (→P. 17)
- ◎給湯栓が十分開いていますか？ (→P. 8, 9, 10, 13)
- ◎給水元栓が全開になっていますか？ (→P. 8)

お湯が出ない  
(運転しない)

- ◎電源プラグが確実にコンセントに差し込まれていますか？ (→P. 8)
- ◎停電していませんか？ (→P. 3)
- ◎ガス栓が全開になっていますか？ (→P. 8)
- ◎給水元栓が全開になっていますか？ (→P. 8)
- ◎給水口フィルターが詰まっていますか？ (→P. 17)
- ◎給湯栓が十分開いていますか？ (→P. 8, 9, 10, 13)
- ◎断水していませんか？ (→P. 3)
- ◎凍結していませんか？ (→P. 16)
- ◎お湯を1時間以上連続使用しませんでしたか？ (→P. 9)
- ◎ガスメーター(マイコンメーター)がガスを遮断していませんか？
- ◎LPガスの場合、ガスがなくなっていますか？

家中のお湯が出なくなった

- ◎お湯張り機能を使ってお湯張りしたあとお湯張りスイッチを解除しましたか？ (→P. 13)

それでもわからないときは  
アフターサービスをお申し付けください

長くお使いいただくために

# 故障かな?と思ったら

## ■機器本体

こんなとき	故障ではありません
寒い日に排気口から白い湯気が出る	外気温が低いときには排気ガスの水蒸気が白い湯気となりますが、故障ではありません。この機器は熱効率が高いため、白い湯気が出やすくなっています。
出湯停止後も燃焼ファンの回転音がある	再使用時の点火をより早くするためしばらくは回転しています。
給湯栓を閉じると、給湯側の水抜き栓から一瞬水が漏れる	給湯側の水抜き栓は過圧逃し弁をかかえています。水の圧力を逃がすために水が出る場合があります。
こんなとき	ここを調べてください
運転中に機器から異常音がある	点検依頼をしてください。

## ■リモコン

こんなとき	ここを調べてください
画面表示しない	◎電源プラグが確実にコンセントに差し込まれていますか? (→P. 8) ◎停電していませんか? (→P. 3)
アラーム番号が表示された	アラーム番号を確認してください。(→P. 20)

## ■機器本体・リモコン

こんなとき	ここを調べてください
給湯燃焼ランプが点灯しない(運転しない)	◎電源プラグが確実にコンセントに差し込まれていますか? (→P. 8) ◎停電していませんか? (→P. 3) ◎ガス栓が全開になっていますか? (→P. 8) ◎給水元栓が全開になっていますか? (→P. 8) ◎給水口フィルターが詰まっていますか? (→P. 17) ◎給湯栓が十分開いていますか? (→P. 8, 9, 10, 13) ◎断水していませんか? (→P. 3) ◎凍結していませんか? (→P. 16) ◎ガスメーター(マイコンメーター)がガスを遮断していませんか? ◎LPガスの場合、ガスがなくなっていますか? 上の10項目を確認してリセット操作をしてください。

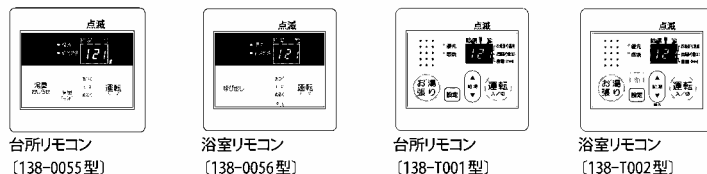
別売品のリモコンを付けている場合は、運転スイッチを「切」にし、約5秒後「入」にしてお使いください。  
本体操作の場合は、一度給湯栓を閉じ、約5秒後に再度給湯栓を開けてください。

それでもわからないときは  
アフターサービスをお申し付けください

# 故障かな?と思ったら

## ■リモコンにアラーム番号が出たとき

不具合が生じたとき、その原因をアラーム番号でお知らせします。原因に応じて表示部にアラーム番号が表示点滅し自動的に運転を停止します。アラーム番号が表示点滅したときは、お買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへご連絡ください。その際は、表示されているアラーム番号もお知らせください。



アラーム番号	原因	処置
03	ガス種選択異常	ガス栓が全開であることを確認後(リセット操作) ↓ それでもアラーム番号が出るときは、修理を依頼してください。
11	給湯点火不良	
12	給湯失火	
31	混合温サーミスタ断線・短絡	
32	入水温サーミスタ断線・短絡	
51	元ガス電磁弁故障	
51	給湯ガス電磁弁故障	
61	ファン回転異常	
70	制御基板異常	
72	ブリボスト異常	
74	台所リモコン通信異常	
75	浴室・増設リモコン通信異常	
CL	お湯張り終了後、お湯張り機能の解除忘れ	
01	給湯60分以上連続使用	給湯栓を閉じる
10	燃焼異常装置作動	修理を依頼する
29	中和器詰まり	
39	燃焼異常装置故障	
90	給湯汚染異常	
92	中和器交換警告(使用可能)	
93	中和器交換警告(使用不可)	
99	燃焼異常装置作動	

リセット操作 運転スイッチを「切」にし、約5秒後「入」にしてお使いください。

## ▼ご注意ください

- “29” “92” “93” は中和器に関するアラームですのでこれらのエラーが出ましたら、お買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへご連絡ください。
- アラーム番号 “92” “93” が表示されたときは、中和器の交換が必要のため、修理を依頼してください。アラーム番号 “92” では機器がしばらく使用できますが、リモコンのアラームは点滅したままです。点滅中は、リモコンの給湯温度が表示されませんので、湯温を確かめてから使用してください。アラーム番号 “93” では機器の使用はできません。
- アラーム番号 “101” が表示されたときは、給湯自己診断機能により給湯能力が下がります。(例えば24号から約12号に) 使用はできますが十分な給湯能力が出ない状態ですので修理を依頼してください。(自己診断機能とは、機器のガスの燃焼が異常になった場合にその燃焼を正常にしようとする機能をい、自己診断機能が働いても燃焼が正常にならない場合は自動的に運転を停止します)
- アラーム番号 “11” “12” が表示されたときは、給湯栓を閉じるにより、アラームが解除される場合があります。



長くお使いいただくために

## サービスを依頼されるときは

- 「故障かな?と思ったら」(→P. 18~20)をご確認ください。それでも直らない場合、あるいはご不明の場合には、ご自分で修理なさらないで、お買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへご連絡ください。
- アフターサービスをお申し付の際は、次のことをお知らせください。
  - (1)ご氏名・ご住所・電話番号・道順(付近の目印等)
  - (2)型番: 133-T010型  
ガスの種類: (例) 13A  
※銘板をご覧ください。(→P. 1)
  - (3)現象(故障または異常内容、アラーム番号などできるだけ詳しく)
  - (4)訪問ご希望日

## 保証について

- 取扱説明書の裏表紙が保証書になっています。
- 保証書に記載されている保証期間・保証内容などをよく確認のうえ、大切に保管してください。
- 保証書を紛失されますと、無料修理期間であっても修理費をいただくことがありますので、大切に保管してください。
- 保証期間経過後の故障修理については、修理により製品の機能が維持できる場合は、ご希望により有料で修理いたします。

## 補修用性能部品の保有期間について

- この製品の補修用性能部品(機能維持のために必要な部品)の保有期間は製造打ち切り後10年です。ただし、保有期間経過後であっても補修用性能部品の在庫がある場合は有料で修理いたします。

## 転居または機器を移設される場合

- ガスの種類が、異なる地域へ転居される場合は、改造・調整の必要があります。お買い上げの販売店、または転居先のガス会社へご相談ください。
- 増改築などのため機器を移設される場合、工事には専門の技術が必要となりますので、必ずお買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへご連絡ください。
- 設置場所の選定にあたっては、運転音や振動が大きくなるような場所をお選びください。また、機器本体の排気口からの温風や運転音が隣家の迷惑にならないような場所を選ぶなど、ご配慮ください。
- 転居・移設にともなう調整や工事の費用は、保証期間内でも有料となります。

## アフターサービス等についてわからないとき

- お買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへお問い合わせください。

## 長期間使用しない場合

- 長時間使用しない場合は次の操作をしてください。
  - (1) ガス栓を閉じます。
  - (2) 給水元栓を閉じます。
  - (3) 機器の水抜きを行います。(→P. 15)
  - (4) 電源プラグを抜きます。

## ■仕様表

項目	内容	
品名	133-T010型	
型式名	GS-S2400W	
外形寸法(mm)	幅350×奥行215×高さ520	
質量(kg)	23	
種給湯方式	先止め式	
類設置方式	屋外壁掛設置形 PS設置形標準設置	
点火方式	AC100V連続放電式(ダイレクト着火)	
水使用水圧	150~500kPa(1.5~5.0kgf/cm <sup>2</sup> )	
圧最低作動水圧	10kPa(0.1kgf/cm <sup>2</sup> )	
接続ガス	15A(R1/2)オネジ	
給湯	20A(R3/4)オネジ	
ドレン接続口	20A(R3/4)オネジ	
電源	AC100V(50/60Hz)	
リモコン側	24V以下	
消費電力	無負荷時	3W
使用時	56W	
凍結予防時	150W	
電源コード	VCT(2心) 機外長2.0m	
安全装置	空だき防止装置(水量センサ) 凍結予防装置(ヒータ) 立消え安全装置(フレームロッド) ファン回転検知装置(回転数検知方式) 空だき安全装置(ハイリミットスイッチ) 過圧防止安全装置(スプリング式) 過電流防止装置(電流ヒューズ) 過熱防止装置(温度ヒューズ) 誤作動保護装置(サージアブソーバ) 高電圧安全装置(高電圧スイッチ)	
付属品	取扱説明書(保証書付)・工事説明書・取付ネジ一式	
別売品	台所リモコン・浴室リモコン・増設リモコン・リモコンコード	

## ■能力表

使用ガス 使用ガスグループ	1時間あたりのガス消費量 kW[kcal/h]	出湯能力(最大時) ℓ/min		ガス接続
		水温+25℃上昇	水温+40℃上昇	
都市ガス 13A	45.5[39,100]	24.0	15.0	15A
LPGガス	45.6[3,26kg/h]	24.0	15.0	(R1/2)

- ①ガス: JISに規定する標準ガス・標準圧力のとき。
- ②出湯能力は、水圧200kPa(2.0kgf/cm<sup>2</sup>)のときで、温度を高めに設定し、水と混合させることにより可能となる最大流量の計算値をいいます。
- ③本仕様は改良のため、お知らせせずに変更することがあります。